

日本物理学会男女共同参画推進委員会 拡大委員会 (63期第1回委員会)

日時：2007年9月24日(月)12時より13時

場所：北海道大学(日本物理学会年次大会会場)

出席者：

新委員

田島節子、前田京剛、家泰弘、有光直子、肥山詠美子、中嶋美帆、平田光司、米永一郎

旧委員

井上順一、初田真知子

[欠席委員：森初果、池内亨、野崎光昭]

ネットコメンテータ

鳥養映子、伊藤厚子、延與佳子、安居院あかね、菅本晶夫、谷田聖、常見俊直、平野琢也、坂東昌子

議事：

1) 新旧委員及びネットコメンテータの自己紹介

[写真撮影]

2) 62期の活動について

広報、女子高校生イベント、学協会の活動への協力などについて、報告及び意見交換を行った。

3) 63期の活動について(自由討論)

- * アンケート調査の結果を物理学会として利用するかどうか、審議した。前回のアンケート結果のまとめについて、平田委員が検討し、その結果をみて考えることとなった。
- * 鳥養氏より、「業績評価における男女共同参画運動を次期委員会のテーマにしたかどうか」という提案がなされた。
- * 安居院氏より「女性研究者支援が育児支援のようなものに偏っているのではないかと別の支援もあるはず。」との意見が出た。
- * 若手女性研究者に対して、科学研究費申請書の書き方や、インタビューでの発表の仕方などについての指導をする、という活動も提案された。
- * 坂東氏より「なぜ女性研究者を増やさなければいけないのか、という問いに答えられるようなデータを集める必要があるのではないかと。」との意見が出た。

以上